

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2010-202016

(P2010-202016A)

(43) 公開日 平成22年9月16日(2010.9.16)

(51) Int.Cl.
B60N 2/28 (2006.01)F 1
B60N 2/28テーマコード (参考)
3B087

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願2009-48644 (P2009-48644)
(22) 出願日 平成21年3月2日(2009.3.2)(71) 出願人 391021226
株式会社カーメイト
東京都豊島区長崎五丁目3番11号
(72) 発明者 田辺 茂
東京都豊島区長崎五丁目3番11号 株
式会社カーメイト内
(72) 発明者 柳生 芳弘
東京都豊島区長崎五丁目3番11号 株
式会社カーメイト内
(72) 発明者 北原 和博
東京都豊島区長崎五丁目3番11号 株
式会社カーメイト内
(72) 発明者 山崎 千恵美
東京都豊島区長崎五丁目3番11号 株
式会社カーメイト内
Fターム(参考) 3B087 CE07

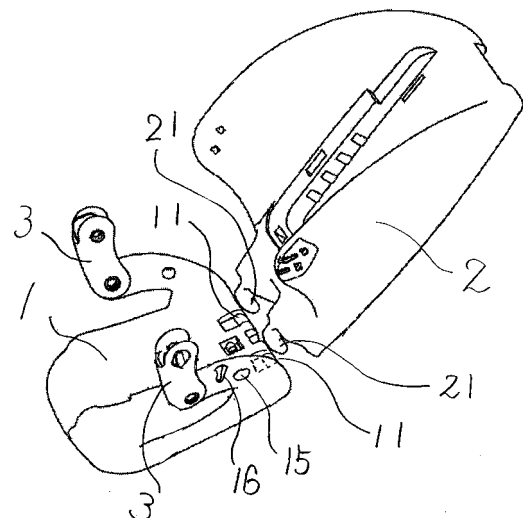
(54) 【発明の名称】 車両用チャイルドシート

(57) 【要約】

【課題】着座した子供による背もたれ部の角度変更操作防止手段を有する、部角度調整機構を得ると共に、座部から背もたれ部を取り外した状態において構成部品が子供に害を与える事が無く、部品の紛失も防止出来る車両用チャイルドシートを得る。

【解決手段】子供が着座する座部と、子供の背中を受ける背もたれ部と、座部と背もたれ部を連結する連結手段と、を有し、上記連結手段によって、座部に対して背もたれ部が着脱可能で且つ、座部に対して背もたれ部が複数の角度で固定可能に構成され、更に、着座した子供による背もたれ部の角度変更操作防止手段を有する。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

子供が着座する座部と、子供の背中を受ける背もたれ部と、座部と背もたれ部を連結する連結手段と、を有し、
上記連結手段によって、座部に対して背もたれ部が着脱可能で且つ、座部に対して背もたれ部が複数の角度で固定可能に構成され、
更に、着座した子供による背もたれ部の角度変更操作防止手段を有する事を特徴とする車両用チャイルドシート。

【請求項 2】

上記連結手段は、座部の後方上面に設けた結合部と、背もたれ部の下端に設けた結合部が、背もたれ部を着脱可能で且つ回動可能に結合する第 1 の連結機構と、座部の側壁に設けられた第 1 の接続部と、背もたれ部の側壁に設けられた複数の接続位置を有する第 2 の接続部と、一方が上記第 1 の接続部に対して回動可能に結合され、他方が固定手段によって上記第 2 の接続部に対して着脱自在に結合される連結部材と、を有する第 2 の連結機構を有する事を特徴とする請求項 1 記載の車両用チャイルドシート。

【請求項 3】

上記角度変更操作防止手段は、背もたれ部の側壁に設けられた上記第 2 の接続部が、複数のガイド溝と、夫々のガイド溝に対応して設けられた複数の穴を有し、
上記連結部材は内側面に背もたれ部のガイド溝内を摺動する突起部が形成され、突起部をガイド溝に挿入した状態で、上記固定手段によって背もたれ部の穴の 1 つと結合して座部に対して背もたれ部の角度が固定可能に構成され、
上記連結部材と背もたれ部の穴との結合位置の変更する際に、上記ガイド溝に対する突起部の移動に連動して背もたれ部が変更前の結合位置よりも後方に一旦傾斜する様に構成される事を特徴とする請求項 2 記載の車両用チャイルドシート。

【請求項 4】

上記ガイド溝は、上記固定手段による連結部材と背もたれ部の穴の結合位置において連結部材の突起部と当接する当接部を有し、
上記固定手段による連結部材と背もたれ部の穴との結合の有無に係わらず、上記連結部の突起部がガイド溝の当接部へ当接する事によって背もたれ部の前方向への移動が制御される様に構成される事を特徴とする請求項 3 記載の車両用チャイルドシート。

【請求項 5】

上記角度変更操作防止手段は、上記連結部材の固定手段の少なくとも 1 部を覆うカバーを有する事を特徴とする請求項 2 ～ 4 の何れか 1 項記載の車両用チャイルドシート。

【請求項 6】

上記角度変更操作防止手段が、車両のシートベルトの座部への装着に連動して動作するロック機構を有する事を特徴とする請求項 2 ～ 5 の何れか 1 項記載の車両用チャイルドシート。

【請求項 7】

上記座部の側壁に上記連結部材の他方と接続可能な第 3 の接続部が設けられ、座部から背もたれ部を取り外した状態で、連結部材の他方が座部に設けられた第 3 の接続部と結合可能に構成される事を特徴とする請求項 2 ～ 6 の何れか 1 項記載の車両用チャイルドシート。

【請求項 8】

上記座部に設けられた第 1 の接続部と連結部材の一方の接続が、着脱可能な手段を有する事を特徴とする請求項 2 ～ 6 の何れか 1 項記載の車両用チャイルドシート。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、本発明は、自動車に子供を乗せるのに好適な車両用チャイルドシートに関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来の車両用チャイルドシートは図11に示す様に、車両に備えられたシートベルトで直接子供を拘束する年少者用のチャイルドシートにおいて、座部81の後端に、円柱状の係止軸82を有する軸受部材が形成されるとともに、背もたれ部83の下端にフック84が形成され、背もたれ部83を水平状態にした状態で、上記フック84の内周面が係止軸82に係合する様に構成され、背もたれ部83を、係止軸82を中心に回転させて起立させることにより、座部81と背もたれ部83とが連結されるチャイルドシートが特開平06-141911号公報で公知である。

【0003】

しかしながら、この従来の車両用チャイルドシートは、座部81に対して背もたれ部83が回転可能でかつ分離可能に構成されているが、座部81に対して背もたれ部83が回転自在の状態で使用されるため、車両の前方への衝突時に背もたれ部83が前方向に回転して子供を後ろから押す形になるため、子供に悪影響を与える恐れがあり、また車両の座席の背もたれ部を垂直に近い状態にしてチャイルドシートを使用した場合には、走行中の通常の制動時にもチャイルドシートの背もたれ部83が前方に倒れてくる場合があった。

【0004】

又、上記の通りこの従来技術では座部81に対して背もたれ部83が固定されていないため、使用方法は車両に設けられたシートベルトで直接子供を拘束する方法に限定され、チャイルドシートにハーネスベルト（座部上面から上方に伸びる股ベルトと、背もたれ部の子供当接面上部から前方に伸びる左右一対の肩ベルトと、上記股ベルトと肩ベルトを着脱するバックルからなる）を使用して子供を拘束する事はできなかった。

【0005】

上記問題を解決し、座部91に対して背もたれ部92が角度変更可能な固定手段を有する従来技術として、図12に示す様に、ストッパーピン93と、座部91の側面および背もたれ部92の側面に複数設けられたストッパーピン93を差し込み係合される係止孔94とを備えたチャイルドシートが特開平08-290732号公報で公知である。

【0006】

しかしながら、この従来の技術では子供自身の操作によりチャイルドシートの使用中に容易に背もたれ部91のリクライニング操作が可能であるため、使用中に子供自身の操作によってチャイルドシートの背もたれ部91の角度を、背もたれを倒す方向に変更した場合は、子供拘束用のハーネスベルト95の長さが不足して子供を過剰に圧迫し、また、背もたれ部92を立てる方向に変更した場合は、上記ハーネスベルト95の長さが過剰になり、子供をしっかりと拘束できなくなるため危険であった。また、子供が成長して、直接車両の背もたれを使用する事が適する場合にも、座部91から背もたれ部92が取り外して使用する事が出来ない欠点があった。

【0007】

また、本件従来技術を改良して、背もたれ部92を取り外し出来る様にした場合、座部の側面から子供も着座方向に向かってストッパーピン93の先端部が、突出してしまい危険であった。

【0008】

尚、上記の様に座面に対して背もたれ部の角度を変更可能でかつ、チャイルドシート自体に子供を拘束するハーネスベルトを有するタイプの自動車用チャイルドシートにおいて、背もたれ部の傾斜角度を変える事によって、背もたれ部のベルト挿通孔とシートクッションのベルト挿通孔の距離が変化に対応して、股ベルトを取り付る股ベルトアンカー80の位置が移動して子供用ベルト拘束構造のベルトの長さが変化し、最適な状態で子供を拘束する事のできるチャイルドシートの技術が実開平5-49470号公報で公知である。

【0009】

しかしながら、この従来の車両用チャイルドシートは、構造が複雑になり、製造コストが高くなると動時に、チャイルドシート自体の重量が増加して、衝突時当のチャイルドシ

10

20

30

40

50

トの挙動に悪影響を与え、また、座部から背もたれ部を取り外し出来る構造になっていないため、直接車両の背もたれを使用すべき体重が増加した大きな子供には使用する事が出来ない欠点があった。

【特許文献 1】特開平 0 6 - 1 4 1 9 1 1 号公報

【特許文献 2】特開平 0 8 - 2 9 0 7 3 2 号公報

【特許文献 3】実開平 0 5 - 4 9 4 7 0 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0 0 1 0】

本発明が解決しようとする問題点は、簡単な構造でありながら、車両の座席にチャイルドシートを設置する際には、座部に対する背もたれ部の角度を任意に角度で固定出来る様にすると共に、使用中に子供自身の操作によって座部に対する背もたれ部の角度が変更される事を防止し、更に、座部から背もたれ部を取り外し可能に構成され、座部から背もたれ部を取り外した状態において上記角度調整機構の構成部品が子供に害を与える事が無く、更に、座部から背もたれ部を取り外した状態において上記角度調整機構の構成部品が座部もしくは取り外した座面に結合した状態を維持して部品の紛失を防止する事を課題とする。

【課題を解決するための手段】

【0 0 1 1】

本発明は、子供が着座する座部と、子供の背中を受ける背もたれ部と、座部と背もたれ部を連結する連結手段と、を有し、上記連結手段によって、座部に対して背もたれ部が着脱可能で且つ、座部に対して背もたれ部が複数の角度で固定可能に構成され、更に、着座した子供による背もたれ部の角度変更操作防止手段を有する事を特徴とする。

【0 0 1 2】

更に、上記連結手段は、座部の後方上面に設けた結合部と、背もたれ部の下端に設けた結合部が、背もたれ部を着脱可能で且つ回動可能に結合する第 1 の連結機構と、座部の側壁に設けられた第 1 の接続部と、背もたれ部の側壁に設けられた複数の接続位置を有する第 2 の接続部と、一方が上記第 1 の接続部に対して回動可能に結合され、他方が固定手段によって上記第 2 の接続部に対して着脱自在に結合される連結部材と、を有する第 2 の連結機構を有する事を特徴とする。

【0 0 1 3】

更に、上記角度変更操作防止手段は、背もたれ部の側壁に設けられた上記第 2 の接続部が、複数のガイド溝と、夫々のガイド溝に対応して設けられた複数の穴を有し、上記連結部材は内側面に背もたれ部のガイド溝内を摺動する突起部が形成され、突起部をガイド溝に挿入した状態で、上記固定手段によって背もたれ部の穴の 1 つと結合して座部に対して背もたれ部の角度が固定可能に構成され、上記連結部材と背もたれ部の穴との結合位置の変更する際に、上記ガイド溝に対する突起部の移動に連動して背もたれ部が変更前の結合位置よりも後方に一旦傾斜する様に構成される事を特徴とする。

【0 0 1 4】

更に、上記ガイド溝は、上記固定手段による連結部材と背もたれ部の穴の結合位置において連結部材の突起部と当接する当接部を有し、上記固定手段による連結部材と背もたれ部の穴との結合の有無に係わらず、上記連結部の突起部がガイド溝の当接部へ当接する事によって背もたれ部の前方向への移動が制御される様に構成される事を特徴とする。

【0 0 1 5】

また、上記角度変更操作防止手段は、上記連結部材の固定手段の少なくとも 1 部を覆うカバーを有すると良い。

【0 0 1 6】

また、上記角度変更操作防止手段が、車両のシートベルトの座部への装着に連動して動作するロック機構を有する構造としても良い。

【0 0 1 7】

10

20

30

40

50

更に、上記座部の側壁に上記連結部材の他方と接続可能な第3の接続部が設けられ、座部から背もたれ部を取り外した状態で、連結部材の他方が座部に設けられた第3の接続部と結合可能に構成すると良い。

【0018】

また、上記座部に設けられた第1の接続部と連結部材の一方の接続が、着脱可能な手段を有する構造としても良い。

【発明の効果】

【0019】

本発明に車両用チャイルドシートは、座部に対して背もたれ部を確実に固定出来る角度調整機構を有するため、背もたれの角度を好みの角度で固定でき、車両の前方への衝突時においても背もたれ部が前方向に回動して子供を後ろから押す事がなく、更に着座した子供による背もたれ部の角度変更操作を防止する手段を有しているため、使用中に車両用チャイルドシートに装着された子供拘束用のハーネスベルトが、張り過ぎて子供を圧迫する事を防止でき、また、逆にハーネスベルトが緩んで安全性が損なわれる事が無い。

【0020】

また、子供が大きくなって来た場合には、座部から背もたれ部を取り外し車両に設置されたシートベルトで直接子供を固定する事が出来るため安全であり、その際に上記角度調整機構の構成部品が子供に向かって突起部を形成する事が無く、また、座部から背もたれ部を取り外した状態において上記角度調整機構の構成部品が座部もしくは取り外した座面に結合した状態を維持して部品の紛失を防止する効果がある。

【発明を実施するための最良の形態】

【0021】

以下図面によって本発明の実施例を説明する。

【実施例1】

【0022】

本発明のチャイルドシートは乳・幼児に使用する場合は、車両に設けられたシートベルトでチャイルドシートを固定し、チャイルドシートに設けられた子供拘束用のハーネスベルト（図示せず）で乳・幼児を拘束する。そして乳・幼児よりも体重と身長が増加した年少者が使用する場合は、車両に設けられたシートベルトで直接年少者を拘束するチャイルドシートであり、更に年少者に用いる場合は成長度合いによって、チャイルドシートの座部1に対して背もたれ部2を装着した状態と、取り外した状態の2通りの使用方法を選択可能に構成されている。

【0023】

図1～図9に示すように、本発明の第1の実施形態に係る車両用チャイルドシートは、子供が着座する座部1と、子供の背中を受ける背もたれ部2と、上記背もたれ部を連結する連結手段と、を有するチャイルドシートよりなり、上記連結手段によって座部に対して背もたれ部が着脱可能に構成され、更に背もたれ部の装着時には、座部に対して背もたれ部が複数の角度で固定可能に構成される。

【0024】

上記連結手段は、上記座部の車両に進行方向に対する後方端部位置に形成した左右一对の軸部11と、背もたれ部の下端位置に形成した左右一对のフック部21よりなる第1の連結機構を有し、上記第1の連結機構は座部1に対して背もたれ部2を倒した状態で上記軸部11と上記フック部21の着脱が可能であり、上記座部1に対して背もたれ部2を傾斜させた状態では、上記軸部11に上記フック部21が係合し、上記座部1に対して背もたれ部2が離脱する事無く、上記座部1に対して背もたれ部2が回転可能に係合する様に構成される。

【0025】

更に上記連結手段は、第2の連結機構が、上記座部の左右の側壁部分に形成された第1の接続部12と、上記背もたれ部の左右の側壁部分に設けられた複数の接続位置を有する第2の接続部22と、一方31が上記第1の接続部12に対して回動可能に結合され、他方

3 2 が上記第 2 の接続部 2 2 の任意の接続位置に対して着脱可能に結合される連結部材 3 を有する。

【0026】

そして、上記座部 1 の第 1 の接続部 1 2 は側壁に形成したフック状腕部 1 3 の先端位置において内側面と外側面とを結ぶ孔 1 4 が形成され、上記背もたれ部 2 の第 2 の接続部 2 2 は、上記背もたれ部 2 の側壁部の少なくとも一面（本実施例では背もたれ部の側壁部の外側面）に設けられた複数のガイド溝 2 3 と、夫々のガイド溝 2 3 に対応して形成された側壁の内側と外側を結ぶ孔 2 4 を有する。

【0027】

上記連結部材 3 は略コ字型の横断面を有し、縦方向における一方 3 1 および他方 3 2 の位置において夫々向かい合う左右の面に一方の孔 3 3 と他方の孔 3 4 が設けられ、この連結部材 3 の一方の孔 3 3 は軸部材 4 によって、上記第 1 の接続部 1 2 で座部 1 に回転可能に接続される。尚、本実施例における軸部材 4 は、頭部 4 1 と軸部 4 2 と爪部 4 3 より構成される軸本体 4 4 と、頭部 4 5 と軸部 4 6 と爪受部 4 7 より構成される軸受部材 4 8 を結合させる構造であり、本実施例では材料にプラスチックを用いているが一部もしくは全部を金属で形成しても良く、更に上記軸部材 4 は本実施例の構成に限定されず、リベット、カンヌキ、ネジ等の既存の軸形成部材を適切に選択することができる。

【0028】

上記連結部材 3 の他方において夫々向かい合う左右の面に設けられた他方の孔 3 4 は、軸部材 5 によって、上記背もたれ部 2 の左右両側壁に離間して設けられた複数の孔 2 4 の何れかを選択して結合可能に構成され、更に上記連結部材 3 に対して軸部材 5 は外れ止め手段が設けられる。

【0029】

本実施例における軸部材 5 は、上記連結部材 3 の他方の孔 3 4 における外側の孔 3 4 a から挿入して、上記背もたれ部 2 の側壁の孔 2 4 を通り、連結部材 3 の内側の孔 3 4 b から突出する先端部 5 1 と、上記連結部材 3 の外側の面 3 5 a と当接するノブ部 5 2 と、上記先端部 5 1 とノブ部 5 2 の間に形成された軸部 5 3 を有する。

【0030】

そして上記軸部材 5 の先端部 5 1 には、部分的に軸の外側方向に拡大した係止爪 5 4 が形成され、上記背もたれ部 2 の側壁の孔 2 4 と上記連結部材 3 の内側の孔 3 4 b には夫々上記係止爪 5 4 を回避する切欠部 2 5 及び切欠部 3 6 が設けられ、上記連結部材 3 の他方の孔 3 4 と背もたれ部 2 の側壁の孔 2 4 に上記軸部材 5 が挿入され、連結部材 3 の他方 3 2 が背もたれ部 2 の孔 2 4 に結合された状態で、ノブ部 5 2 を回転させる事によって、上記係止爪 5 4 が連結部材 3 の他方 3 2 における内側の壁の外側面 3 5 b と係合する様に構成される。

【0031】

更に、上記係合状態を維持させるために、ノブ部 5 2 の外周部 5 5 と上記連結部材 3 の外側の面 3 5 a には、互いに係止可能な係合部 5 6 が設けられる。尚、本実施例においては軸部材 5 の先端部 5 1 には二股状に形成され、軸部材 5 の先端部 5 1 が撓む事によって、上記連結部材 3 の他方 3 2 における外側の孔 3 4 a に軸部材 5 の先端部 5 1 が挿入可能に構成され、軸部材 5 の先端部 5 1 を連結部材 3 の他方 3 2 における外側の孔 3 4 a に挿入した後に、軸部材 5 の内部に、軸部材の先端側の二股状の撓み防止と、補強を兼ねた芯部材 5 7 を挿入する事により、連結部材 3 の他方 3 2 における外側の孔 3 4 a に対して軸部材 5 の先端部 5 1 が挿通困難となり、連結部材 3 から軸部材 5 が離脱して紛失する事が防止出来る様に構成されている。

【0032】

更に、上記連結部材 3 は内側面に背もたれ部 2 のガイド溝内 2 3 を摺動する突起部 3 7 が形成され、上記突起部 3 7 をガイド溝 2 3 に挿入した状態で、上記軸部材 5 によって背もたれ部 2 の孔 2 4 の 1 つと結合して座部 1 に対して背もたれ部 2 の角度が固定可能に構成され、上記連結部材 3 と背もたれ部 2 の孔 2 4 との結合位置の変更する際に、上記ガイド

溝 2 3 に対する突起部 3 7 の移動に連動して背もたれ部 2 が変更前の結合位置よりも後方に一旦傾斜する様に構成される事によって、本発明のチャイルドシートに着座した子供が背もたれ部 2 の角度の変更操作を開始し、軸部材 5 による連結部材 3 と背もたれ部 2 の孔 2 4 の結合状態を解除し、連結部材 3 を回動操作した際に、上記ガイド溝 2 3 に対する突起部 3 7 の移動に連動して背もたれ部 2 が後方に傾斜してチャイルドシートの背もたれ部 2 の後面が、車両のシートの背もたれ部前面に突き当たる事によって、連結部材 3 を回動操作が困難になり、背もたれ部 2 の角度変更操作を防止する事が出来る。

【0033】

尚、上記背もたれ部 2 の左右両側壁に設けられる孔 2 4 と溝 2 3 の位置および溝 2 3 の方向は、上記ガイド溝 2 3 に対する突起部 3 7 の移動に連動して背もたれ部 2 が変更前の結合位置よりも後方に一旦傾斜する範囲内において適切に設定する事ができ、また、溝 2 3 は直線状に形成せず湾曲や屈曲して設けても良く、更に図 10 に示す様に連結部材 3 の他方と結合する孔 2 4 を 1 本の溝 2 3 に対して複数箇所に設けても良く、その場合は連結部材 3 と背もたれ部 2 の孔 2 4 の結合位置に対応した溝 2 3 の位置で溝を屈曲させると、背もたれ部 2 の角度調整作業が容易になる。

【0034】

なお、上記ガイド溝 2 3 は、上記軸部材 5 による連結部材 3 と背もたれ部 2 の孔 2 3 の結合位置において連結部材 3 の突起部 3 7 と当接する当接部 2 6 を有し、上記軸部材 5 による連結部材 3 と背もたれ部 2 の孔 2 4 との結合の有無に係わらず、上記連結部材 3 の突起部 3 7 がガイド溝 2 3 の当接部 2 6 へ当接する事によって背もたれ部 2 の前方向への移動が制御されるため、操作の誤り等によって軸部材 5 による連結部材 3 と背もたれ部 2 の孔 2 4 との結合状態が解除されていても、車両の前方衝突時にチャイルドシートの座面 1 に対して背もたれ部 2 の前方への回動動作が防止もしくは軽減される事により、安全性が高まる様に構成されている。

【0035】

尚、本実施例においては連結部材 3 の他方 3 2 と背もたれ部 2 の孔 2 4 の結合に、先端部 5 1 に係止爪 5 4 を有するノブ部 5 2 よりなる軸部材 5 を用いているが、本発明における連結部材 3 の他方と背もたれ部 2 の孔 2 4 との結合は、本実施例の軸部材 5 に限定されず、ピン、カンヌキ、ネジ等の既存の軸形成部材を適切に選択する事ができ、その際に背もたれ部 2 の孔 2 4 は、貫通していない穴（凹みを含む）としても良い。また、更に上記軸部材 5 の代わりに係止爪等の軸部材以外の既存の固定手段を用いても良い。

【0036】

更に、本発明のチャイルドシートに着座した子供が背もたれ部 2 の角度の変更操作を防止する手段として、上連結部材 3 の軸部材 5（固定手段）を含む部分を覆うカバー（図示しない）が設けられる事により、背もたれ部 2 と連結部材 3 の軸部材 5（固定手段）による結合状態を着座した子供が容易に解除しない様に構成されている。

【0037】

尚、本実施例において、上記座部 1 の側壁には上記連結部材 3 の他方 3 2 と接続可能な孔 1 5 と、突起部 3 7 との当接を回避する回避部 1 6 を有する第 3 の接続部 1 7 が設けられ、上記座部 1 から上記背もたれ部 2 を取り外した状態で、上記連結部材 3 の他方 3 2 に設けられた軸部材 5 と、上記座部 1 の側面に設けられた孔 1 5 を軸部材 5 によって接続可能に構成する。その際、連結部材 3 は座部 1 の側壁の上部に被さる様に配置する事によって、背もたれ部 2 を外して使用する時に、連結部材 3 が邪魔にならず、また、構成部品を紛失する事を防止できる。

【実施例 2】

【0038】

本発明においては、更なるチャイルドシートに着座した子供が背もたれ部 2 の角度の変更操作を防止する手段として、車両のシートベルトによって、チャイルドシートを車両の座席に固定した際に、車両のシートベルト当接部に配置された可動部材が車両のシートベルトの押付力によって可動する様に配置され、上記可動部材に接続されたリンク部材が、上

10

20

30

40

50

記連結部材 3 の移動をロックするのロック部材に接続されるロック機構（図示せず）を設ける事により、車両のシートベルトによって、チャイルドシートを車両の座席に固定する事により、自動的に背もたれ部の角度の変更操作を防止する様にしても良い。

【実施例 3】

【0039】

本発明において、上記座部 1 に設けられた第 1 の接続部と連結部材 3 の一方 3 1 の接続を着脱可能に構成しても良く、その場合は連結部材 3 の他方 3 2 の孔 3 4 と背もたれ部 2 の接続を維持した状態で、座部 1 から背もたれ部 2 を取り外す事ができるため、背もたれ部 2 を外して使用する時に、連結部材 3 が邪魔にならない。尚、上記第 1 の接続部と連結部材 3 の一方の接続は、第 1 実施例において記載した上記第 2 の接続部と、連結部材 3 の他

10

【産業上の利用可能性】

【0040】

本発明に係る車両用チャイルドシートは、着座した子供による背もたれ部の角度変更操作防止手段を有する背もたれ部の角度調整機構を有し、更に座部から背もたれ部を取り外し可能であるため、幼児から年少者までの広い年齢層において安全に使用が可能な車両用チャイルドシートを実現でき、産業上において広く利用する事ができるものである。

【図面の簡単な説明】

【0041】

20

【図 1】本発明の第 1 実施例における座部から背もたれ部を外した状態を示す斜視図である。

【図 2】本発明の第 1 実施例における背もたれ部と連結部材の結合前の状態を示す斜視図である。

【図 3】本発明の第 1 実施例における背もたれ部と連結部材のを外した状態を示す側面図である。

【図 4】本発明の第 1 実施例における軸部材 4 の断面図である。

【図 5】本発明の第 1 実施例における軸部材 5 の断面図である。

【図 6】本発明の第 1 実施例における第 2 の接続部の説明用要部縦断面図である。

【図 7】本発明の第 1 実施例における第 2 の接続部の要部側面図である。

30

【図 8】本発明の第 1 実施例における第 2 の接続部を着座位置から見た場合の要部側面図である。

【図 9】本発明の第 1 実施例における背もたれ部を外した場合の使用状態を示す側面図である。

【図 10】本発明の第 1 実施例の変形例を示す参考側面図である。

【図 11】従来技術を示す参考斜視図である。

【図 12】従来技術を示す参考側面図である。

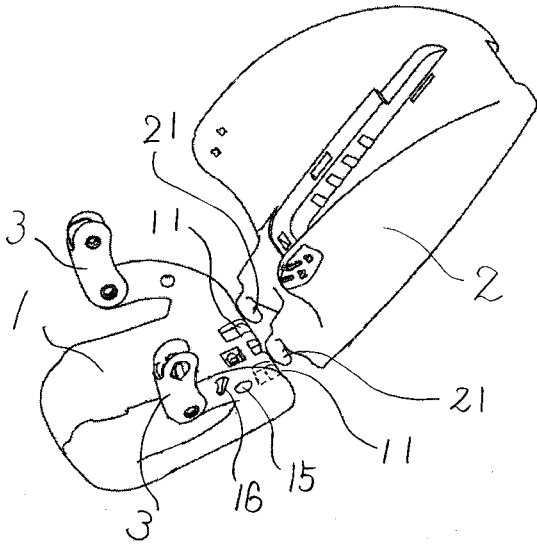
【符号の説明】

【0042】

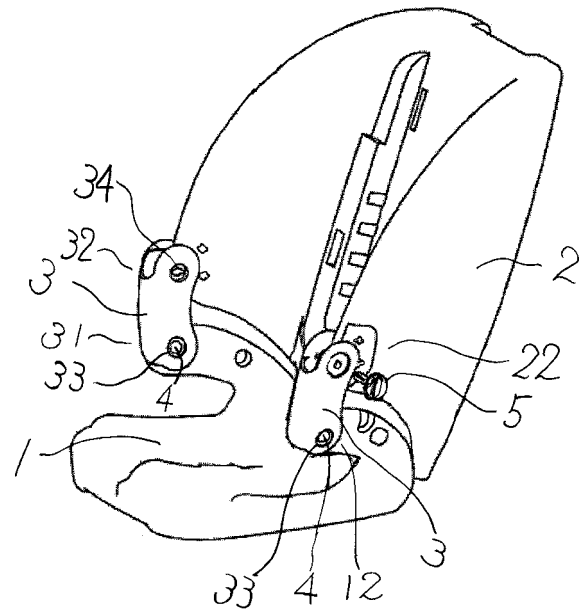
1：座部、2：背もたれ部、3：連結部材、4：軸部材、5：軸部材、11：軸部、12：第 1 の接続部、13：フック状腕部、14：孔、15：孔、16：回避部、17：第 3 の接続部、21：フック部、22：第 2 の接続部、23：ガイド溝、24：孔、25：切欠部、26：当接部、31：一方、32：他方、33：一方の孔、34：他方の孔、34a：外側の孔、34b：内側の孔、35a：外側の面、35b：内側の面、36：切欠部、37：突起部、41：頭部、42：軸部、43：爪部、44：軸本体、45：頭部、46：軸部、47：爪受部、48：軸受部材、51：先端部、52：ノブ部、53：軸部、54：係止爪、55：外周部、56：係合部、57：芯部材、81：座部、82：係止軸、83：背もたれ部、84：フック、91：座部、92：背もたれ部、93：ストッパーピン、94：係止孔、95：ハーネスベルト

40

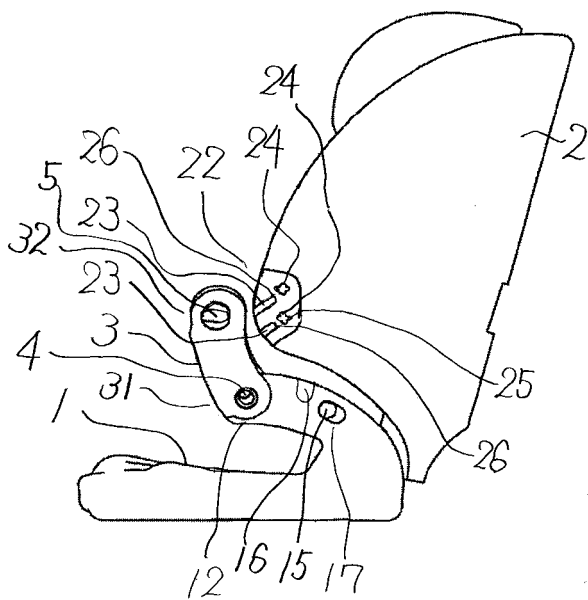
【図 1】



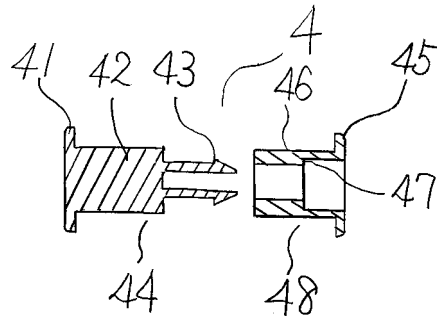
【図 2】



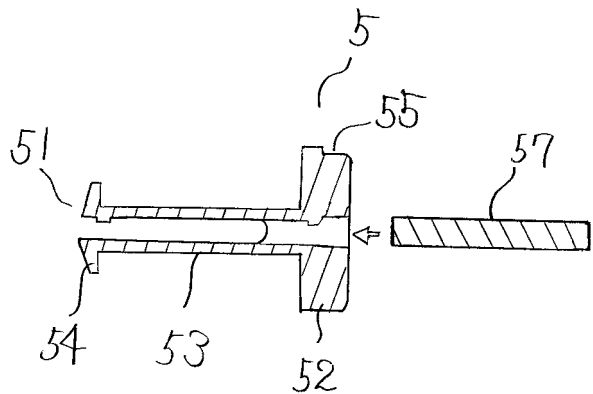
【図 3】



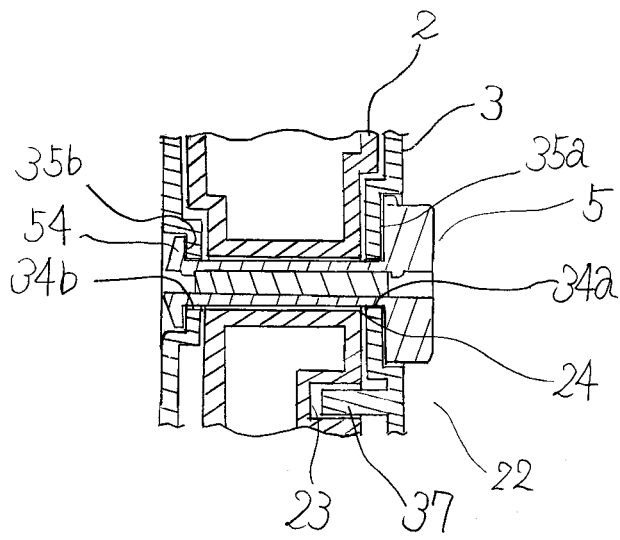
【図 4】



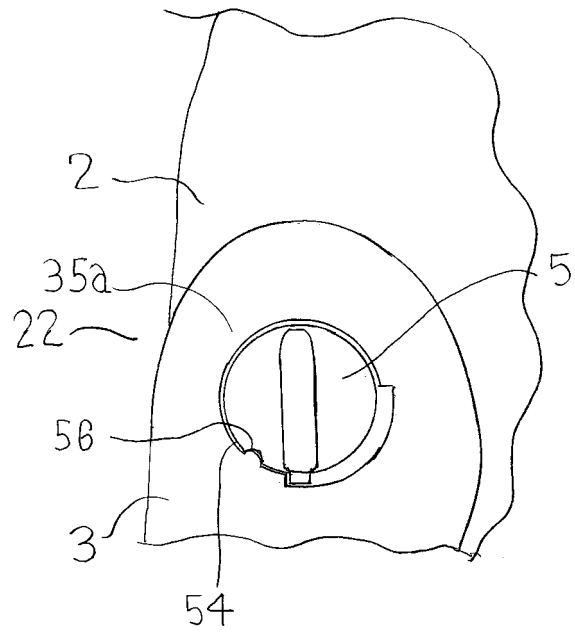
【図 5】



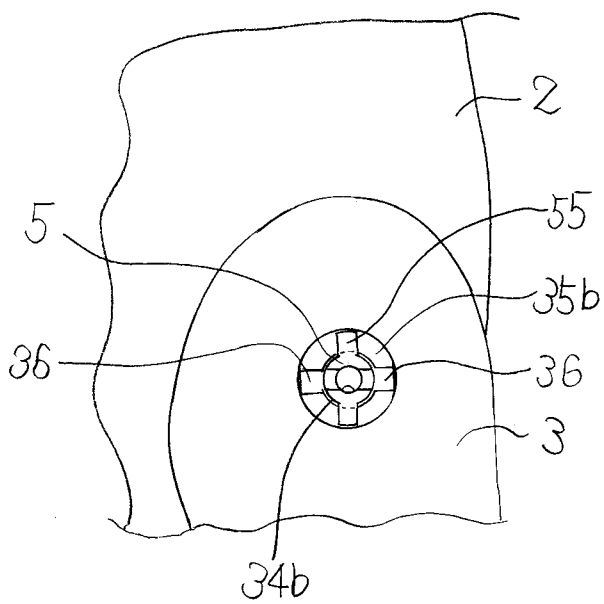
【図 6】



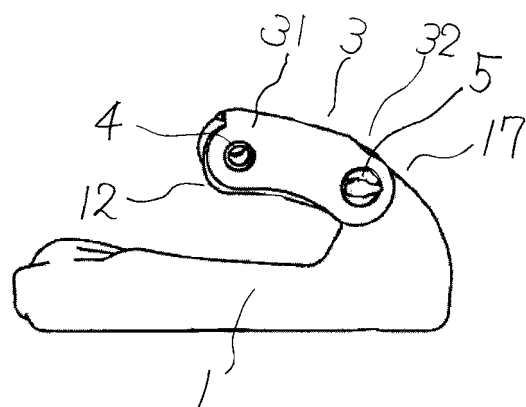
【図 7】



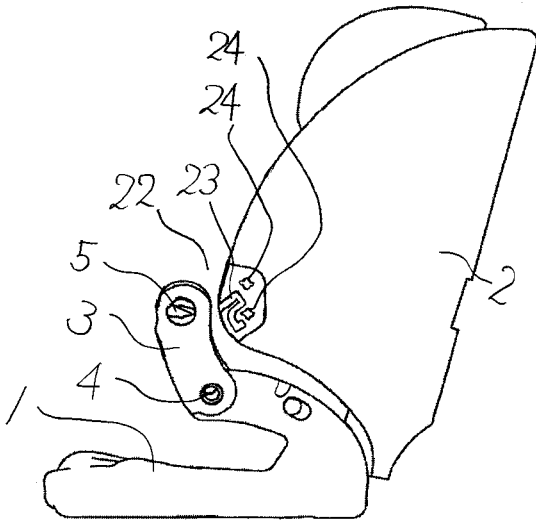
【図 8】



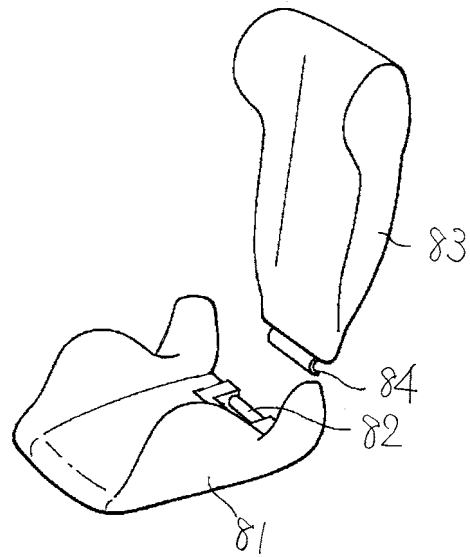
【図 9】



【図 10】



【図 11】



【図 12】

